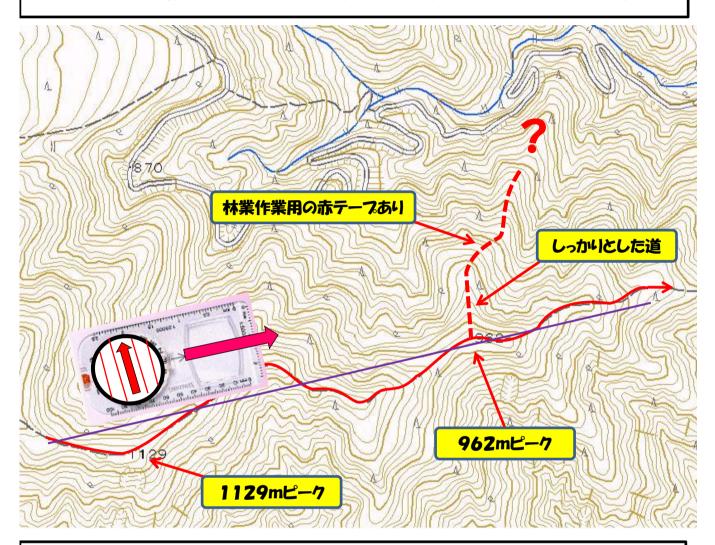
丹沢天王寺尾根道迷い(2010年5月)

休憩もせずに、道標を頼りに下山をした。地図は持っていたが見なかった。962mピークの尾根分岐で、本来真っ直ぐ進むべきであるにも関わらず、しっかりとした道があったので北の尾根へんでしまった。赤テープもあったので正解ルートがと思い込んでいた。気がついた時には、登山道はなくなっていた。



解説

少し広い尾根になっていて、正規ルートは962mへ少し登らないといけない。しかし、迷い尾根はそのまま登山道を下ればよいので、地図も見ずに進む場合、疑わず迷い尾根に進んでしまうことはよくある話し。迷い尾根は北に進む。正規ルートは東。明らかに違うが、ルートを予測をしないで行動した結果である。ではここで、どのような予測をたてていたらよいのだろう。

【予測】

1129mピークで下山尾根の走行性を確認しておきたい。コンパスで進行方向を確認したら、このコンパスをポケットに入れておいて、時々進行方向が正しいかどうか見れば、少なくとも北方向の尾根に迷うことはないだろう。たったこれだけの確認だが、しない方が多い。

今回は、道に迷ったら戻るという原則を実行し、大事には至らなかった。そして、今後の山行に備え、GP Sを購入したり、地図を見ることを重要と認識されたり、計画書の提出の大切さを語られている。苦い思い出は、次の山行に役立てられる。